

事業シート(令和7年度予算)

事業名	41400 救急医療対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画		
						款	4	衛生費				ポイント	(1)			日々の暮らしと地域活動を支える人づくり	
						項	1	保健衛生費			分野別	政策分野	1			福祉・医療・保健	市長公約
						目	4	地域医療対策費				施策分野	(5)			医療・保険	
担当課	医療保健部 医療政策課			内線	2802												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が休日夜間に急病になった時に受診できる医療体制を整え、安心して暮らせるようにする。	概要	・休日診療所の開設(日・祝・年末年始、医科及び歯科) ・在宅当番医制・病院群輪番制病院(久美愛厚生病院、飛騨市民病院)への運営費の補助 ・救命救急センター(高山赤十字病院)への運営費等の助成 ・24時間電話医療相談の実施、「救急安心センターぎふ」の利用勧奨などによる適正な救急医療受診の啓発
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.7%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
					増減 (b)-(a)	
		100,903	98,254	101,271		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(休日診療所使用料、保健衛生費受託事業収入等)	35,083	34,574	34,274		
一般財源		65,820	63,680	66,997		
新規・拡充	主な事業内容					
	休日診療所の運営	16,165	16,155	16,390		
	24時間電話医療相談	1,620	1,610	1,620		
	在宅当番医制・病院群輪番制病院運営費助成	42,149	39,868	41,977		
	救命救急センター運営費等助成	40,000	40,000	40,000		
	救急安心センター運営負担金	840	514	1,152		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・休日診療所開設状況 医科(70日開設) 利用者数:942人 歯科(53日開設) 利用者数:108人 ・救急医療機関(二次・三次)運営に対する助成 ・#7119救急安心センターぎふ電話相談件数 243件(10月1日～開始) ・24時間電話医療相談の相談利用数 3,010件
評価等	・休日診療所の開設により、市内中核病院の救急外来の負担軽減を図ることができた。 ・24時間電話医療相談事業の継続および#7119救急安心センターぎふの開設により、市民の健康不安の解消を支援し、救急医療の適正利用の普及啓発を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・救急医療の確保および適正利用の普及を継続して実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	101,811
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
101,746	101,811	101,811	540
35,554	35,554	35,554	1,280
66,192	66,257	66,257	△ 740
査定額	説明		
16,865			
1,620			
42,048			
40,000			
1,093			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・安心、安全な市民生活の維持のため、市内の医療機関等に一次から三次の救急医療体制を構築するための予算を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	41410 医療確保等支援事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	過疎地域持続的発展計画
						款	4	衛生費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり		
						項	1	保健衛生費		分野別	政策分野	1	福祉・医療・保健	市長公約	
						目	4	地域医療対策費			施策分野	(5)	医療・保険		
担当課	医療保健部 医療政策課			内線	2802										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう医療体制の確保と充実を図る。	概要	・市内中核病院の医学生から指導医までに対する切れ目のない支援、就労・医療環境の整備、診療機能の維持等に対する助成
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	53.7%		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)				R5			R6		
				最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
				217,555	197,914	257,855			
特定財源	国費 (医療機関等運営支援事業費 10/10)			15,900	14,477	0			
	県費 (地域医療確保事業費 1/2)			6,335	4,988	17,690			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、寄附金)			24,000	24,000	33,000			
一般財源				171,320	154,449	207,165			
新規・拡充	主な事業内容								
	医師確保及び教育支援等に対する助成			159,014	152,865	160,390			
○	病院設備整備に対する助成			20,000	19,845	58,665			
	医療機関等光熱費高騰対策支援金			15,900	14,580	0			
	ICTを活用した医療DX推進事業			10,000	0	0			
	医師育成支援補助金(医学生から中堅までの継続育成)			7,400	7,226	2,740			
	中核病院との医療人材教育に関する連携の強化					30,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・市内中核病院の医師確保や医療機器整備等に対する助成 ・岐阜大学医学部「地域医療コース」在校生5名、新入生2名の修学資金を支援 ・飛騨医療圏の医療体制を安定的に維持するため、市内2か所の中核病院と3者連携協定を締結 ・コロナ禍における原油価格、電気料金の高騰により施設の運営に影響を受ける医療機関等の負担を軽減し、良質なサービスを継続できるよう、光熱費の高騰分について支援(173施設) ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)開設準備を実施
評価等	・市民が安心して地域医療を受けられる環境整備に寄与した。 ・「地域医療コース」は将来の医師確保へ向けて効果が期待できる施策であることから、今後もより多くの学生への利用促進を図る。 ・研修医師確保を目的とした2会場のガイダンスへ、市内2か所の中核病院と連携して出展できた。 ・医療機関の光熱費高騰支援により、負担の軽減と運営の安定が図られ、市内の医療提供体制を維持することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・市内中核病院の医療体制の支援については、ヒアリング等を実施しながら、実態に応じた助成を行う。 ・将来の医師確保へ向けて、引き続き「地域医療コース」の新規入学生及び在校生の修学を支援する。 ・大学医学部と締結した協定等に基づき、市内医療機関をフィールドとした医学生の実習やセミナーの開催を支援し、将来の定着を目指した人材育成をすすめる。 ・地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)を実施する。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	263,453
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
334,999	263,453	263,453	5,598
17,443	17,410	17,410	△ 280
		10,000	△ 23,000
317,556	246,043	236,043	28,878
査定額	説明		
166,890			
58,493	手術支援ロボット導入に対する助成ほか		
2,530			
30,000	地域医療者教育寄附講座(岐阜大学)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・3者医療連携協定に基づいた医療人材育成の環境整備や医療DXの推進等、地域医療提供体制の安定を図るために必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・手術支援ロボット導入に対する助成について積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

20_医療政策課.xlsx_3

事業名	41410 医療確保等支援事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	医療政策課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	4	衛生費		
枝番・内容	1 手術支援ロボット導入に対する助成		☐ その他重要事業			項	1	保健衛生費	内線	2802
			☐			目	4	地域医療対策費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・全国的に総合病院において手術支援ロボットの設置が標準となってきた中で、飛騨圏域では未導入である。若手医師の確保並びに市民が良質で適正な医療サービスを受けることができるよう、市内中核病院が導入する手術支援ロボットの導入費を支援する。	概要	・手術支援ロボットの導入支援により、手術の手法が変化してきている状況に適合させていく。 ・手術支援ロボットによる手術により、患者の身体的負担の軽減及び安全性が高い手術の実施が図られる。 ・ロボット手術を実施できる医師の確保・育成につながり、医療提供体制の充実が図られる。。
----	--	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	38,493
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		38,493

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・市内中核病院が導入する手術支援ロボットの購入経費に対する助成 補助率等：総事業費の1/3 R7予算：38,493千円 R7～R9債務負担設定：3年間総額115,478千円	
[スケジュール] ・4月 補助申請・交付決定 ・5月～12月 病院において入札、機器整備 ・1月～3月 実績報告・補助金支払い	